

学校教育の方針と重点

「めざす姿」

「私（ぼく）は、この目標に向かって、今、このことを頑張っています。」

と言い切れる児童生徒（教職員）

方針

- ◇どの子にも基本的な学習内容を確実に身に付けさせる。
- ◇いじめ、不登校や問題行動の防止、減少を実現する。

重点

今日的な課題に向けて

- 新学習指導要領への対応（主体的・対話的で深い学びの追求）
- 小中一貫教育の推進（義務教育9年間を見通した系統的な学習指導、継続的な生徒指導の充実）
- コミュニティ・スクールの充実（地域と学校との連携・協働体制の構築／地域学校協働活動の充実／総括推進委員の活用／PTCA 活動／コミュニティ・スクールだよりの発行等）
- スクールソーシャルワーカーの活用
- 情報教育の推進（ICT・情報モラル教育の推進／プログラミング教育の実践）

(1) 安全で安心して学ぶことができる学校づくり

- *安心して学ぶことのできる環境の確保（魅力ある学校づくりの推進：いじめ・不登校や問題行動の未然防止、早期発見、早期対応の徹底）
- *教育備品の充実（情報機器の整備：Wi-Fi 環境整備・ネットワークの充実/校務支援システムの再整備）

(2) 学ぶ力を確実に育む学び

- *確かな学力の育成（指導改善サイクルの充実/教員研修の充実/産官学学力向上プロジェクトの展開）
- *英語教育の充実（小学校英語指導の充実及び国際理解教育の推進/イングリッシュ・デーの実施）
- *道徳教育の充実（「考え、議論する道徳」の推進/ボランティア活動の推進/性差に関する教育の推進）
- *健康・体力づくりの推進（チャレンジスポーツ in ぎふ/トップアスリート事業）
- *食育の推進（食に関する指導及び地産地消の推進/朝食の欠食率の抑制と共食の促進）
- *特別支援教育の充実（早期からの一貫したきめ細やかな支援の充実）

学級目標の具現に徹する学級経営